

---

九州運輸局メールマガジン 平成 28 年 11 月 17 日 第 345 号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日（祝・祭日の場合は翌日）にお届けしています。

次回の発行日は平成 28 年 12 月 1 日（木）となります。

---

## ◆ 目次

### 1 現場レポート

・安全性に優れたトラック事業所を表彰～九州運輸局長から 11 事業所へ表彰状を授与～

・平成 28 年度西日本鉄道（株）にて鉄道総合訓練を実施～筑紫車両基地においてテロ対策等を訓練～

・地元高校生へ造船業の魅力を発信！～長崎で初めて、高校生への造船業体験研修会を開催～

・効果的な安全確保の取組に向けて～北九州・下関地区安全管理研修会などを開催～

・韓国の海事安全監督官に我が国の船舶運航管理制度紹介～近隣諸国の船舶運航に関する安全性向上のために～

### 2 お知らせ

・「2016 西日本 B-1 グランプリ in 佐伯」がいよいよ開催～11 月 19 日（土）、20 日（日）に佐伯市中心市街地で～

### 3 九州運輸局ホームページアップ情報

・報道発表

・お知らせ

・更新情報

---

## 1 現場レポート

---

### ◆安全性に優れたトラック事業所を表彰

～九州運輸局長から 11 事業所へ表彰状を授与～

◎九州運輸局では、全日本トラック協会により安全性優良事業所（G マーク）に認定されている事業所のうち、長年継続して認定を受け安全・安心に積極的に取り組む 11 事業所を表彰しました。

#### ◇概要

・11 月 16 日（水）、九州運輸局（福岡合同庁舎新館・福岡市博多区）にて、「平成 28 年度安全性優良事業所九州運輸局長表彰式」を行い、特に安全性に優れた取組を実践している貨物自動車運送事業所を同日付けで表彰。

#### ◇内容

・国土交通省では、利用者が安全性の高い事業者を選びやすくする観点等から、輸送の安全の確保に積極的に取り組んでいる事業所を認定する制度として、貨物自動車運送事業安全性評価制度（G マーク制度・平成 15 年 7 月から開始）を推進中。

・この G マーク制度の更なる普及と促進を促すため、この度平成 28 年度九州運輸

局長表彰を実施。

・表彰者：佐々木 良 九州運輸局長

・受賞者：野中産業株式会社本社営業所（福岡県北九州市）、ハウス物流サービス株式会社九州営業所福岡事務所（福岡県古賀市）、株式会社鋼ライン本社営業所（福岡県北九州市）、富士貨物自動車株式会社本社営業所（佐賀県神埼市）、大和物流株式会社佐賀営業所（佐賀県多久市）、肥前通運株式会社本社営業所（佐賀県武雄市）、肥前通運株式会社鹿島営業所（佐賀県鹿島市）、ヤクルトロジスティクス株式会社佐賀営業所（佐賀県神埼市）、親和自動車有限会社本社営業所（長崎県大村市）、一宮運輸株式会社物流センター熊本（熊本県菊池郡大津町）、東九総合運輸株式会社本社営業所（大分県大分市）

◇九州運輸局からのメッセージ

・九州運輸局長表彰を受賞された 11 事業所の皆さまは、G マークを 10 年以上連続取得し、安全・安心の輸送に積極的に取り組まれている事業者であり、今後とも、他の模範となるよう、引き続き安全の確保に努められることを期待します。

◇表彰式の写真は九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_345\\_1.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_345_1.pdf)

---

◆平成 28 年度西日本鉄道（株）にて鉄道総合訓練が実施  
～筑紫車両基地においてテロ対策等を訓練～

◎西日本鉄道株式会社では、毎年、事故等発生時の迅速な対応を行うため、鉄道総合訓練を実施しており、平成 28 年度はテロを想定した訓練等が実施されました。

◇概要

・平成 28 年度の訓練では、筑紫車両基地において、テロ発生を想定した訓練、電気施設復旧・救援列車の運行に係る指令伝令訓練が行われ、事象発生からの速やかな乗客避難誘導、警察・消防による負傷者救出及び除染作業、情報収集、マニュアルに基づいた関係各所への連絡及び指揮命令の習熟等が図られました。

◇内容

・日時：10 月 21 日（金）

・時間：10 時 30 分～16 時 00 分

・場所：筑紫車両基地

・参加者：西日本鉄道（株）各部門及び関連会社、福岡県警察本部鉄道警察隊、福岡県警及び筑紫野警察署、筑紫野太宰府消防組合

・訓練内容：乗客避難誘導訓練、負傷者救出訓練（警察・消防）、事故情報伝達訓練、列車防護訓練、電気施設復旧訓練、救援列車派遣訓練、事故車けん引運転訓練

◇九州運輸局からのメッセージ

・公共交通の最大の使命は旅客の安全確保です。万が一発生した事故、テロ、災害に対し、速やかな対応を行う為には、日頃の訓練が非常に重要となってきます。国土交通省では、大量輸送機関である鉄軌道の旅客の安全を確保するため、鉄軌道事業者、警察等と連携し、テロの未然防止対策を促進しており、更なる安全環境の確保に努めていきます。

◇訓練の様子は九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_345\\_2.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_345_2.pdf)

---

◆地元高校生へ造船業の魅力を発信！～長崎で初めて、高校生への造船業体験研修会を開催～

◎長崎地域造船造機技術研修センターでは、長崎工業高校の1年生を対象に造船業体験研修会を開催しました。

◇概要

- ・長崎地域造船造機技術センターは、長崎県造船協同組合・協同組合三菱長船協力会・福岡造船(株)長崎協力会他関係機関にて構成され、長崎県の基幹産業の一つである造船業における若年層への技術の継承を目的とした新人研修会を平成19年4月から実施。
- ・11月7日(月)、長崎運輸支局・株式会社井筒造船所・長崎総合科学大学(全て長崎市)にて、長崎県立長崎工業高校機械システム科1学年の生徒40人を対象として、造船業を体験し、興味を抱いてもらうための体験研修会を開催。
- ・今回の高校生を対象とした研修会は、長崎では初めての新たな取組で、マスコミ関係者の関心も高く、当日はマスコミ数社が取材に訪れ、新聞、テレビで報道。

◇内容

- ・長崎運輸支局にて、株式会社井筒造船所代表取締役社長 吉原隆氏から「造船所の魅力・仕事内容」について講義。
- ・株式会社井筒造船所にて、現場見学。
- ・長崎総合科学大学にて、関連施設見学

◇長崎運輸支局からのメッセージ

・本年6月3日に交通施策審議会海事分会イノベーション部会より答申された「海事産業の生産性革命(i-shipping)による造船の輸出拡大と地方創生のために推進すべき取組について」でも指摘されている「人の力」の育成のため、今後も若い人材に造船業への魅力を発信し、長崎地域造船造機技術センターの活動とあわせて、造船業を志す若者の拡大の支援に取り組んでいきます。

◇造船業体験研修会の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_345\\_3.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_345_3.pdf)

---

◆効果的な安全確保の取組に向けて  
～北九州・下関地区安全管理研修会などを開催～

◎福岡運輸支局、若松海事事務所及び下関海事事務所は、関門地区旅客船協会と連携し、「北九州・下関地区安全管理研修会」と「旅客船乗組員安全運航研修会及び教育訓練」を開催しました。

◇概要

- ・主催は、福岡運輸支局、若松海事事務所及び下関海事事務所。開催場所は門司港

湾合同庁舎7階第一共用会議室（北九州市門司区）。

・11月8日（火）午前中、旅客船及び内航海運事業者等を対象に安全運航の確保や運輸安全マネジメントの適切な実施、向上等を図るため、「北九州・下関安全管理研修会」を開催。38社から主に安全統括管理者や運航管理者など61名が参加。

・午後からは、関門地区旅客船協会と連携し、旅客船の乗組員を対象に旅客のパニック防止や適切な避難誘導等の知識・能力の向上等を図るため、「旅客船乗組員安全運航研修会及び教育訓練」を開催。船員や運航管理者など37名が参加。

◇内容：「北九州・下関地区安全管理研修会」

【講演】テーマ：「安全管理における内部監査の活用」、講師：福岡運輸支局首席運輸企画専門官（深町貴志）、ポイント：内部監査は次年度に繋げるための重要なチェックポイントであり、経営トップも参画した確実な実施の必要性を強調。

◇内容：「旅客船乗組員安全運航研修会及び教育訓練」

【講演】テーマ：「非常時の旅客の安全確保（避難誘導と救命設備）」、講師：福岡運輸支局運航労務監理官（野村健也）

【講演】テーマ：「旅客船・貨物船の事故例」、講師：運輸安全委員会事務局門司事務所次席地方事故調査官（栗原和栄）

【講演・実演】テーマ：「傷病者への対処法」、講師：門司海上保安部航行安全課海務係長（高山万輝）

◇福岡運輸支局・若松海事事務所・下関海事事務所からのメッセージ

・研修会の受講生からは「分かりやすい内容であり、継続して実施して欲しい。」との要望もあり、非常に中身の濃い研修会となりました。今後も関係機関とも連携し、事業者からの要望を踏まえた研修を実施していきます。

◇研修会等の模様は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_345\\_4.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_345_4.pdf)

---

◆韓国の海事安全監督官に我が国の船舶運航管理制度紹介  
～近隣諸国の船舶運航に関する安全性向上のために～

◎九州運輸局では、10月25日（火）～27日（木）の3日間、韓国より4人の海事安全監督官を受入れ、我が国の船舶運航管理制度について詳細な説明を行う他、実際の船舶及び事業所に出向いて模擬的な運航管理監査の演習を実施しました。

◇概要

・韓国政府より、海事安全監督官を日本の運航管理監査に参加させて知見を得たいとの要請があり、両国間において協議のうえ、九州運輸局での受け入れが決定。

・韓国の海事安全監督官は、2014年に発生した「セウォル号」の事故を受けて、韓国政府による指導・監督を強化するために発足したもの。船舶の運航に関連する実務経験者が採用され、本部及び地方庁に34人を配置。

・10月25日から27日、九州運輸局会議室（福岡市博多区）、鹿児島港（鹿児島市）、阪九フェリー事業所（北九州市門司区）にて、韓国の海事保安監督官4人に対し座学、模擬監査を実施。

◇内容

- ・10月25日、九州運輸局会議室にて座学。両国から自国の船舶運航管理制度について詳細な説明を実施し、相違点や抱えている課題等について意見交換。
- ・10月26日、鹿児島港に停泊する長距離大型フェリーと短距離中型フェリーの船内において模擬の運航管理監査を実施。マリックスライン(株)が運航する「クイーンコーラルプラス」及び鹿児島市船舶局(桜島フェリー)が運航する「第十八桜島丸」にて模擬の運航管理監査を実施し、安全管理規程に定められている事項の遵守状況等、通常監査における確認方法を見学。見学後は船長や運航管理者に対し、事前に用意していた調査項目や現場で気付いた疑問を熱心に質問。
- ・10月27日、大型長距離フェリーを運航する阪九フェリー(株)の事業所にて、模擬の運航管理監査を実施。陸上からのサポート体制等を確認。
- ・3日間の行程を終了した海事安全監督官からの所見。  
「日本の船舶運航事業者は、船員と運航管理部間の安全に対する意識が自国と比較してとても高い。様々な質問に対して的確で迅速な答えが返ってくるし、船と陸上で協力して安全運航に努めていることがよくわかった。」  
「韓国では運航管理は第三者機関が担っているが、将来的には日本のように自社で責任を持って運航管理を行う方が望ましいと感じた。」

#### ◇九州運輸局からのメッセージ

九州・山口は全国の海岸線の3分の1と、多くの離島を擁する全国でも海上航路にウエイトの大きな地域であり、かつ、九州運輸局管内の対馬の北端からは対岸の釜山港が見えるように、韓国とは距離的にも近く、古くから国際航路が行き交う、歴史的にも繋がりが深い関係にあります。

今般、韓国の海事安全監督官に日本の船舶運航管理制度を紹介したことを契機に、我が国の船舶運航に関する安全管理制度が近隣諸国に広まることで、海上における安全がより高まることを期待しています。

◇韓国の海事安全監督官と当局の運航労務監理官との交流の様子は、九州運輸局フォトライブラリーからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_345\\_5.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_345_5.pdf)

---

## 2 お知らせ

- ◆「2016 西日本 B-1 グランプリ in 佐伯」がいよいよ開催  
～11月19日(土)、20日(日)に佐伯市中心市街地で～

日本最大級のまちおこしイベントとして多くの来場者を集める「B-1(ビーワン)グランプリ」が、いよいよ明後日19日(土)と20日(日)に、大分県佐伯市にて開催されます。

地域ブランドを高めることにつなげるため、大分県佐伯市の佐伯文化会館下お祭り広場、佐伯市役所来客用駐車場、仲町商店街が会場となっています。

(注) B-1 グランプリの「B」は地域 BRAND(ブランド)の「B」です。

地方から日本を元気にするイベントに、ぜひ皆さんでお出かけください。

詳しいご案内は、次の公式ホームページからご覧ください。

<http://b-1gp.saiki.jp/>

(「2016 西日本 B-1 グランプリ in 佐伯実行委員会」からのお知らせでした。)

---

## 3 九州運輸局ホームページアップ情報

--- 報道発表 -----

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ-----  
<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報-----  
<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

////////編集部だより ///////////////////////////////////////  
前号から2週間、いろんな出来事が全国で、そして九州でもありました。いつも口  
（くち）にしている安全・安心の確保の大切さ、そしてそれが容易ではないことが  
身にしみた日々でした。それにしてもいろいろなところで様々な被害等からの復旧  
を目にしますが、そのスピードには感嘆するばかりです。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。  
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本  
メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

- 
- 本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/backnumber-top.htm](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm)
  - 本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou\\_mail.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html)
  - 九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）  
mail: [qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp](mailto:qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp)  
Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
-